

## 市長提案説明要旨

平成30年12月6日

本日ここに平成30年第4回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案などの説明を申し上げます。

### 《はじめに》

我らが鹿島アントラーズは、先月11日、アジアチャンピオンリーグ決勝を制し、悲願のアジアチャンピオンに輝き、前人未到の20冠を達成しました。市民の皆様をはじめ全国の大勢のアントラーズサポーターに大きな喜びと感動を与えていただいたこと、大変うれしく思っております。

イランでの決勝第2戦は、試合開始が日本時間で午前0時にもかかわらず、カシマスポーツセンターにおいて開催したパブリックビューイングには、約1,600人もものサポーターが詰めかけ、私も皆様と歓喜の瞬間を分かち合っていました。

この偉業を多くの皆様と祝福するとともに、ホームタウンでの機運醸成や「サッカーのまち 鹿嶋」の全国への発信に向けて、優勝記念イベントの開催を検討しております。

鹿島アントラーズは、今月12日からアラブ首長国連邦（UAE）で開催されるFIFAクラブワールドカップに、アジア王者として出場します。2年前の日本開催では、決勝戦で世界屈指の強豪レアルマドリードと激闘を演じ、世界を驚かせたのも皆様の記憶に新しいかと思えます。

15日の初戦、北中米代表に勝利すると、19日の準決勝でレアルマドリードとの対戦になります。再び、鹿島アントラーズと鹿嶋の名を世界に轟かせていただけることを大いに期待しております。

### （国内情勢等）

10月に第4次安倍改造内閣が発足し、安倍首相は、所信表明演説において、国土強靱化や地方創生、全世代型の社会保障制度改革、外交・安全保障問題など直面する喫緊の課題への対応について決意を示しました。

また、災害復旧や全国の公立小・中学校へのエアコン設置による熱中症対策など総額9,356億円の国の第1次補正予算が成立しましたが、本市においても、この補正予算を活用し、中学校のエアコン整備を図ってまいりますので、ご理解をお願いいたします。

## 《事業の概要等》

続いて、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

### (スポーツでつながるまちづくり)

鹿島アントラーズのほかにも、本市にゆかりのある選手やチームの活躍が続いています。

ゴルフ界では、本市出身の額賀辰徳プロが、先月行われた「三井住友VISA太平洋マスターズ」で、プロ転向13年目で悲願の初優勝を飾りました。

また、新日鐵住金鹿島硬式野球部ブルーウィングスが「第44回社会人野球日本選手権大会」においてベスト4進出、鹿島中学校女子駅伝チームが関東大会に出場したほか、鹿島学園女子サッカー部が茨城県初となる「第27回全日本高校女子サッカー全国大会」への切符を手に入れました。

こうした目覚ましい活躍は、市民のスポーツへの関心や意欲を高め、「スポーツのまち 鹿嶋」のイメージアップにつながります。皆様のさらなるご活躍を期待しております。

「オリンピックが鹿嶋にやってくる！」と題して、オリンピックに向けて2年前イベントを鹿嶋まつりと同時開催しました。

様々なスポーツ団体や大会組織委員会、茨城県などと連携して、オリンピック・パラリンピック及び国体に係る競技体験や大会ボランティア・都市ボランティアの募集、かしま大使の研ナオコさん、鹿島アントラーズCROの中田浩二さん、新日鐵住金鹿島硬式野球部監督の中島彰一さんによるトークセッションなどを通じ、市内外からの大勢の来場者にオリンピックと国体の開催機運の醸成を図りました。

今後も、市民や関係団体と連携を図り、機運醸成や受入態勢の整備などを推進してまいります。

### (未来を創るひとづくり・まちづくり)

トップアスリートを市内の公立小中学校に派遣する「オリンピック・パラリンピック推進事業」については、今年度は、全ての公立中学校で「夢の教室」と「特別講演会」を実施するとともに、ブラインドサッカーなどの元日本代表選手を招いてのパラリンピアンとの交流も進めております。

今月19日には、県事業を活用し、中野東小学校において、ウェルチェアラグビーの元日本代表選手による特別授業を行います。

こうした取り組みは、オリンピック・パラリンピックそのものへの興味関心を高めるだけでなく、スポーツを通じての友情やフェアプレー精神の重要性、国際・異文化や共生社会への理解の促進などにつながっていくものと考えております。

今年度開設しました「鹿嶋市子育て世代包括支援センター・りぼん」においては、母子健康手帳の発行と全ての妊婦との面談を通じて、それぞれの家庭に必要なサービスや支援などの情報提供のほか、産前産後における電話による支援など、きめ細かな対応を図っています。

今後も、センターの一層の周知を図りながら、妊娠期からの切れ目ない子育て支援を推進してまいります。

### （地域資源を生かしたまちづくり）

地域を代表する一大イベントである「第28回鹿嶋まつり」は、10月27日、28日の2日間、カシマサッカースタジアム周辺で開催され、新企画の「鹿嶋 de ハロウィン」のほか、子どものお仕事体験「かしまちワーク」、模擬店などの「かしまフェア」、屋外ステージでのパフォーマンスなど、大変好評を得ました。

また、福祉まつり「みんなのひろば」や「アースフェスタ（環境展・消費生活展）」、茨城国体・オリンピックのPRイベントも同時開催され、市内外から延べ10万人を超える皆様にご来場いただきました。

開催に当たりご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

11月1日から2日にかけて鹿島神宮で初めて開催された「第31期竜王戦七番勝負第3局」では、羽生竜王と広瀬八段の盤上の戦いだけでなく、棋士に振る舞われた地元産の昼食やおやつに至るまで、本市の数々の魅力も全国に発信され、大いに市のPRにつながりました。来年度以降の開催についても取り組んでまいりたいと思います。

鹿嶋の美味しい食材の普及と商店街の活性化を目指し、11月の1ヶ月間、地元産の食材をテーマにしたグルメイベント「食のフェア かしま食べ物語」を開催しました。

昨年の「鹿嶋産きくらげ」に続く、第2弾として、本市初のブランド豚「かしまし豚」をテーマに、昨年度より5店舗多い市内16店舗において様々な工夫を凝らしたメニューが提供され、多くの方に楽しんでいただいたと伺っております。

また、学校給食への地元産シラスを使用したメニューの提供も行っており、今後も、地消地産の促進とともに、グルメのまち「鹿嶋」のイメージを定着させていきたいと考えております。

今月16日、鹿島灘漁業協同組合魚市場において、「鹿島灘はまぐり祭り」を開催します。関係者の皆様のご尽力により、年々来場者も増え、今や2万5千人の方が訪れる冬の一大イベントに成長しました。

人気イベントである体験乗船や模擬セリ、バーベキューコーナーなどのほか、今年度は、鹿島灘はまぐりや鹿島タコ、鹿島灘ももいろホッキ貝などの厳選した

地元食材をふんだんに使用したメニューを手軽に味わえる「鹿島灘のれん街」を開設します。多くの方にご来場いただき、鹿嶋の美味しい海の幸を堪能いただきたいと思います。

#### （市民と共に創るまちづくり）

先月23日、鹿嶋勤労文化会館を会場に、今回で4回目となる「鹿嶋市女子フェスタ」を鹿嶋ジャズと同時開催したところ、3,500人を超える幅広い世代の方にご来場いただき、大いに盛り上がりました。

今後も、子育て中の母親や女性起業家の応援など、女性の活躍推進に向けた様々な施策を展開してまいります。

身近な地域での芸術文化活動を通じた世代を超えた市民交流は、市民の連帯感を高め、郷土愛を育む土壌にもつながります。

今月9日、「第4回鹿嶋市第九交響曲コンサート」が鹿嶋勤労文化会館で開催されます。皆様には是非コンサート会場にご来場いただき、一緒に楽しんでいただきたいと思います。

#### （住んで安心のまちづくり）

高齢者の社会参加や生活支援などを推進する生活支援体制整備事業については、平成27年度から市内全域を対象とする第1層協議体をスタートし、現在は、市内12小学校区を単位とした第2層協議体の発足を進めながら、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを行っています。

今月21日には、生活支援体制の更なる推進と市民の皆様がこの事業を広く知っていただくことを目的に、「共に創る 支え愛のまち かしま」（みんなが主役の支え愛活動）をテーマに、大野ふれあいセンターにおいて市民フォーラムを開催します。

高齢者が地域でつながりを持ち、生き生きと暮らしていける社会を実現するため、地域の皆様とともに、支えあいの仕組みづくりを進めてまいります。

生活習慣病は、今や健康長寿の最大の阻害要因であり、早い段階で、生活習慣を改善することで病気の発症を予防することが重要です。

特定健康診査については、昨年度、初めてショッピングセンター・チェリオにおいて実施したところ、若い世代を中心に受診者が増加するなど一定の成果が見られました。来月20日にショッピングセンター・チェリオで実施しますので、今年度まだ受信されていない方は受診をお願いいたします。

#### （自立した信頼のあるまち）

現在、国県の予算編成方針や経済財政対策の動向などを注視しながら、新年度

の予算編成を進めています。

市の財政運営は、国の社会保障制度改革や子育て支援施策、茨城国体・オリンピックに向けた施設整備と改修、公共施設の老朽化対策などによる歳出増が見込まれ、厳しい財政状況が続く見通しです。

こうした中、複雑多様化する行政ニーズに柔軟に対応しつつ、各種施策を着実に推進するためには、事務事業を改善していくことはもとより、持続可能な財政運営が可能となるよう、組織横断的に効率的な事業展開を模索し、事業の有効性や必要性に基づき、業務の効率化と高度化を図ることが肝要であると考えています。

新年度予算編成においては、第三次鹿嶋市総合計画・後期基本計画をはじめとする各種計画を着実に推進するため、真に必要な事業に対し効果的に予算配分を行うとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標達成に向けた取り組みや、「いきいき茨城ゆめ国体」やオリンピックに向けた機運醸成などを推進してまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

#### 《提出議案等》

次に、提出しました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が6件、条例関係議案が4件、人事関係議案が3件、指定管理者の指定関係議案が3件、道路認定関係議案が1件、合わせて17件であります。

まず、予算関係議案は、平成30年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計の補正予算であります。

一般会計補正予算については、老人医療給付経費、生活保護扶助経費、道路維持補修費、エアコン整備事業による中学校大規模改造事業などを計上しております。

国民健康保険特別会計補正予算については、総務費、保健事業費を計上しております。

後期高齢者医療特別会計補正予算については、後期高齢者医療広域連合納付金を計上しております。

介護保険特別会計補正予算については、地域支援事業費、諸支出金などを計上しております。

農業集落排水特別会計補正予算については、農業集落排水費を計上しております。

下水道事業会計補正予算については、収益的支出における営業費用の増額や、資本的支出における建設改良費、固定資産購入費の減額などをしております。

条例関係議案は、鹿嶋市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例などであります。

人事関係議案は、鹿嶋市固定資産評価審査委員会委員の選任に当たり、議会の同意を求めるものであります。

指定管理者の指定関係議案は、大野北いきいきふれあいプラザなどの施設についてであります。

道路認定関係議案は、市道1路線を認定するものであります。

私の説明は以上で終わりますが、予算以外の議案については、担当の総務部長から補足説明をさせていただきます。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。